

峰上地区交通空白地有償運送事業の 本格運行への移行について（案）

○協議趣旨

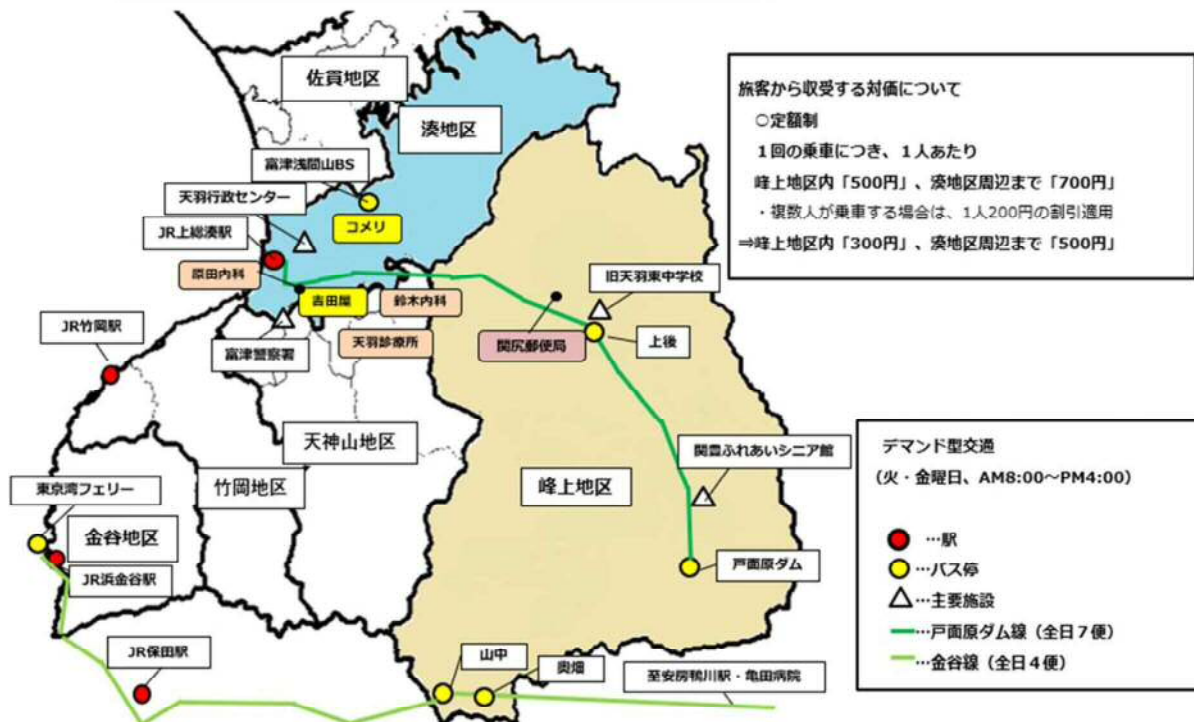
令和4年12月から実証運行を開始した峰上地区交通空白地有償運送事業「峰タク」について、現状の利用状況等を踏まえ、令和6年4月1日から本格運行へ移行することとしてよろしいか、ご協議いただくもの。

①運行の概要

実施主体	NPO 法人峰上交通
運行の区域	富津市南部（峰上地区及び湊地区周辺）
利用対象者	会員登録をした峰上地区在住者及びその親族等
運賃（片道）	峰上地区内 500 円、湊地区周辺まで 700 円 (複数人が乗車した場合は 1 人 200 円の割引を適用)
運行日	週 2 日（平日の火曜日及び金曜日）
運行形態	事前予約制デマンド型運行
運行開始日	令和 4 年 12 月 13 日（火）



交通空白地有償運送運行区域（NPO法人峰上交通）



②本格運行移行の判断基準（令和4年度第2回富津市地域公共交通会議資料
実証運行計画より抜粋）

○ガイドライン

・本市では、平成31年3月に「移動手段の導入・運行維持・休廃止のガイドライン」を定めている。

これは、限られた財源の中、持続可能な移動手段を確保するため、受益者負担と公費負担のバランスについて、市の基本的な考えを示したもので、このガイドラインに基づき、本格運行への移行の可否を判断することとした。

○運行継続条件

① 1 運行あたりの輸送人員

区域型運行の場合… 1 運行あたり 1.5 人以上

② 稼働率（計画運行回数のうち実際に運行した回数）

基準値 30%以上（※）

③ 収支率（収入÷支出）※収入には、国庫補助を含むものと想定

基準値 1年目:10%以上、2年目:30%以上、3年目:50%以上

○本格運行への移行の判断時期

・持続可能性を確保するため、令和7年10月以降の運行からは、国の生活交通確保維持改善事業費補助金（地域内フィーダー補助）の活用を見据え、実証運行期間において、上記3つの条件のうち、2つ以上の条件を満たす見込みの運行となっているかを、地域公共交通会議で判断してまいりたい。

判断時期：令和7年6月

・上記判断時期に関わらず、早期に満たすことができる見込みとなった場合は、実証運行期間を短縮し、本格運行への移行を判断する場合も想定することとしたい。

（※）稼働率についての補足説明

国の補助金を活用するには、国から計画認定を受ける必要がある。計画認定を受けるためには、補助を受けようとする運行系統（峰タク）の地域公共交通における位置付け・役割等を地域公共交通計画に記載した上で、「地域公共交通計画認定申請書」を国へ提出する必要があり、関係書類の中で補助対象期間中における総計画運行回数を定めることとされている。

その後の補助金申請において、計画運行回数に対する実績運行回数の運行割合が30%に満たなかった場合は、補助金交付申請の対象外とされることから、本指標を条件の一つとしている。

③利用状況

対象地域（峰上地区）の人口と利用登録状況

世帯数 1,099 世帯 人口 2,275 人（R5.3.31 現在 住民基本台帳人口）

登録世帯数 107 世帯 登録者数 239 人（R5.11.30 現在）

■運行実績（概要）

月	運行日数	運行回数	延利用者数	一運行あたりの の輸送人員 (乗合率)	登録世帯数
R4.12	5日	24回	36人	1.50人/便	80世帯
R5.1	8日	25回	38人	1.52人/便	5世帯
R5.2	8日	30回	41人	1.37人/便	10世帯
R5.3	8日	38回	51人	1.34人/便	6世帯
R5.4	8日	35回	52人	1.49人/便	1世帯
R5.5	8日	40回	50人	1.25人/便	0世帯
R5.6	9日	46回	78人	1.70人/便	2世帯
R5.7	8日	40回	57人	1.43人/便	1世帯
R5.8	8日	42回	81人	1.98人/便	1世帯
R5.9	8日	36回	68人	1.89人/便	0世帯
R5.10	9日	46回	66人	1.43人/便	0世帯
R5.11	7日	33回	56人	1.70人/便	1世帯
計	94日	435回	674人	1.55人/便	107世帯
一日当たりの数値		4.63回	7.17人		

条件②稼働率(計画運行回数のうち実際に運行した回数)
基準値「30%以上」

条件①1運行あたりの輸送人員
「1運行あたり1.5人以上」

※本格運行移行の判断条件②の考え方について

実証運行期間中は、地域の移動量把握も目的としていたため、計画運行回数を定めていなかったが、本格運行移行後は、国庫補助金の活用を前提に、補助対象期間中における総計画運行回数を定める必要がある。

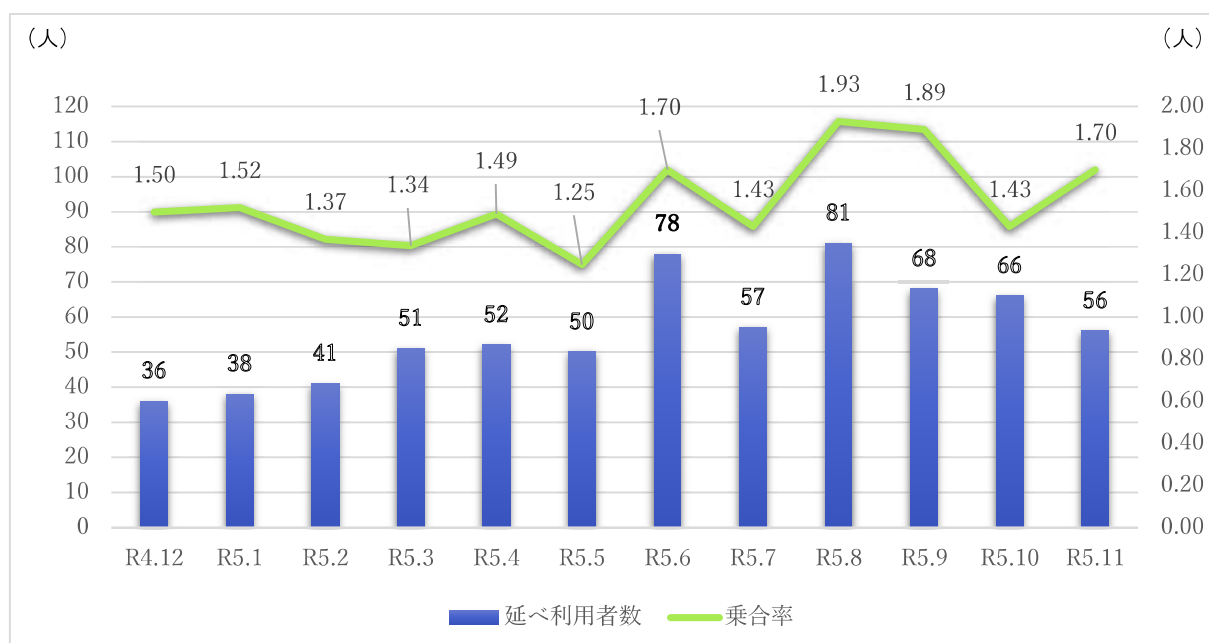
具体的に、本格運行初年度の総計画運行回数は、利用実態、運行体制等を踏まえると、運行日1日あたり午前4回、午後4回の計8回程度と想定する。

仮に1日あたりの計画運行回数を8回、年間の運行日数を100日(週2日)とすると、年間計画運行回数は800回となり、現状の実績である年間運行回数435回は計画の約55%となるため、本格運行移行後も稼働率30%の基準を満たす見込みと考える。

■ 月別延べ利用者数及び乗合率

延べ利用者数は増加傾向にあり、前回報告時（令和5年5月末データ）では月平均の利用者数が45件であったものが、その後の6か月間（6月から11月）では月平均68件と約1.5倍の増加となっている。

また、デマンド運行における効率性を示す乗合率についても、前回報告時が期間平均で1.40人／便に対し、その後の6か月間では1.67人／便と向上している。



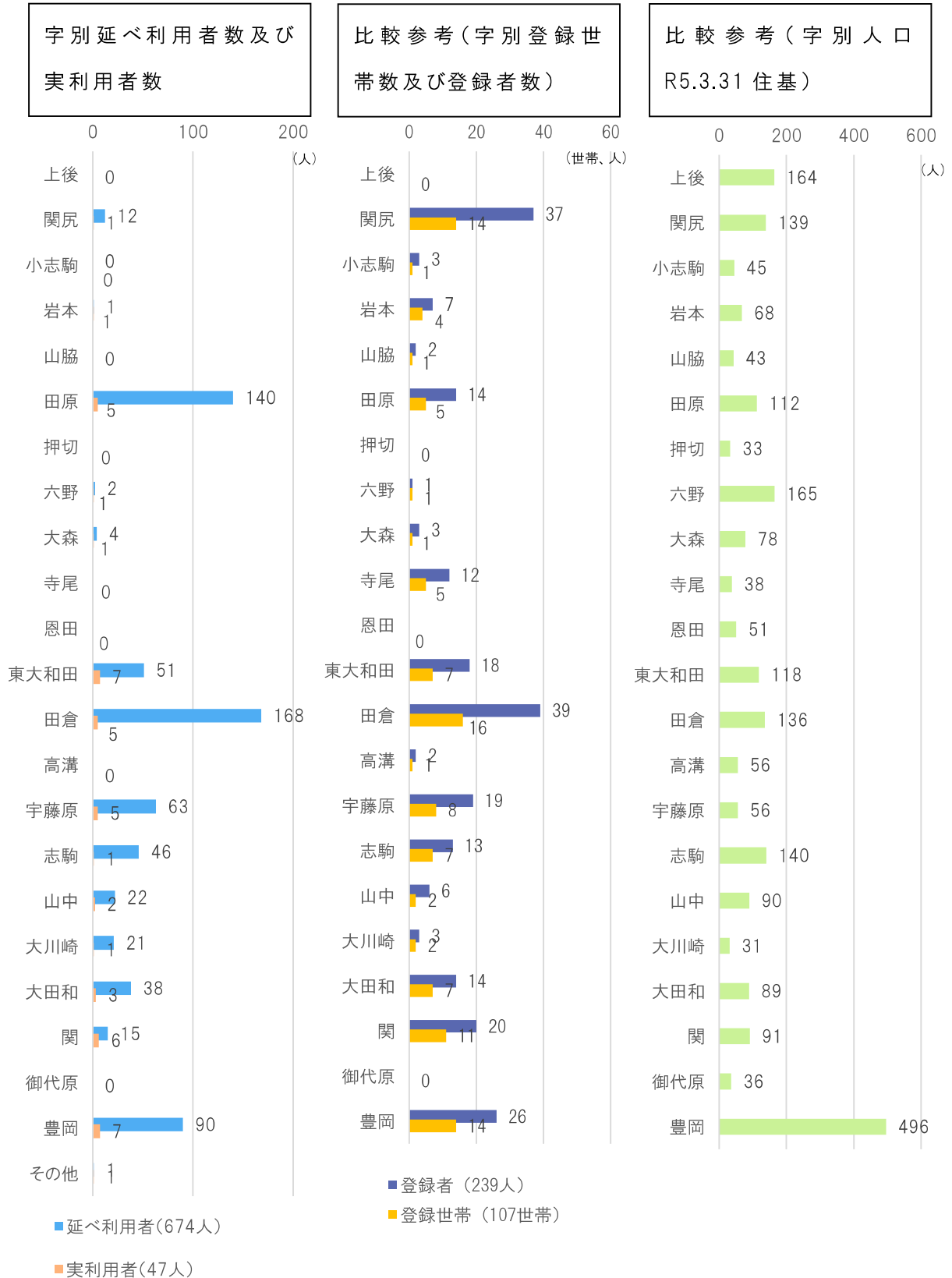
■ 乗合運行時の乗客の関係性について

乗合で運行した173便のうち、同居親族のみで運行したケースは34便で、全体の19.7%ということが分かった。

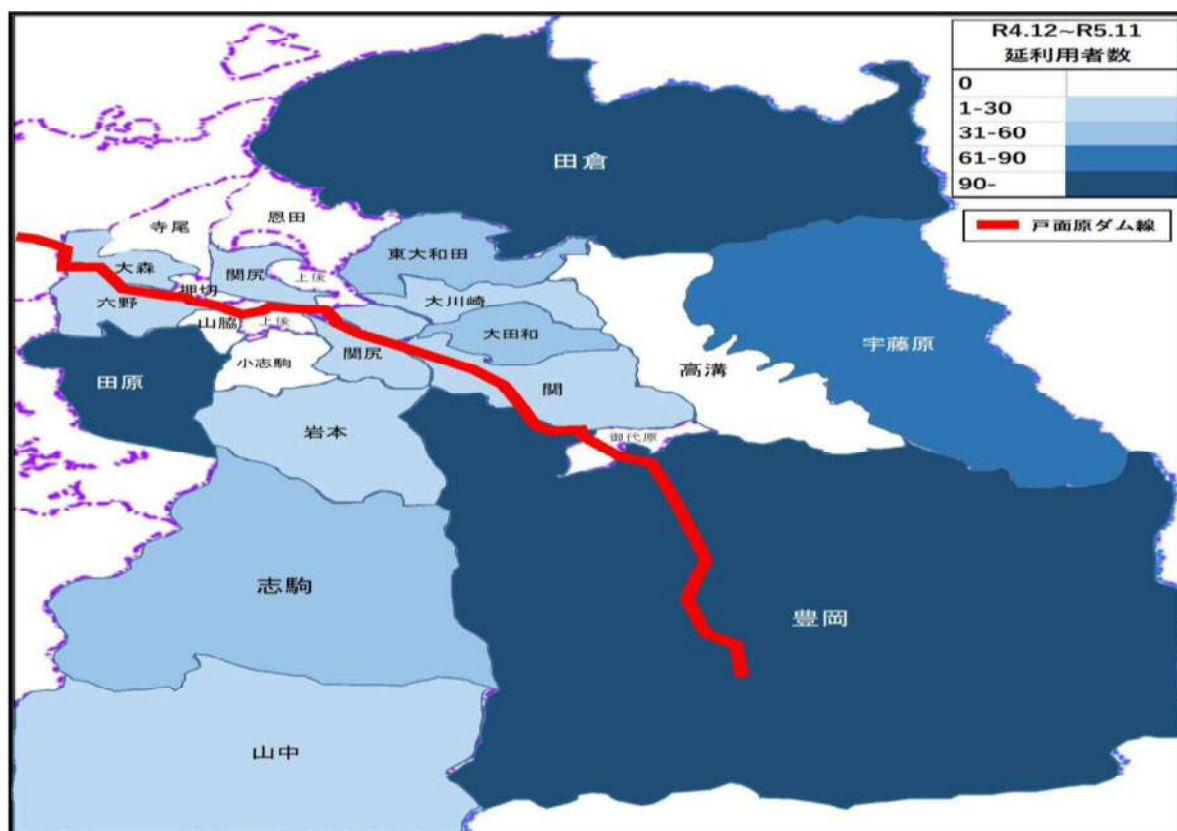
乗合運行の内訳 (便)	同居親族のみ同乗	34
	それ以外	139
乗合合計		173
同居親族のみの割合		19.7%

■字別延べ利用者数及び実利用者数

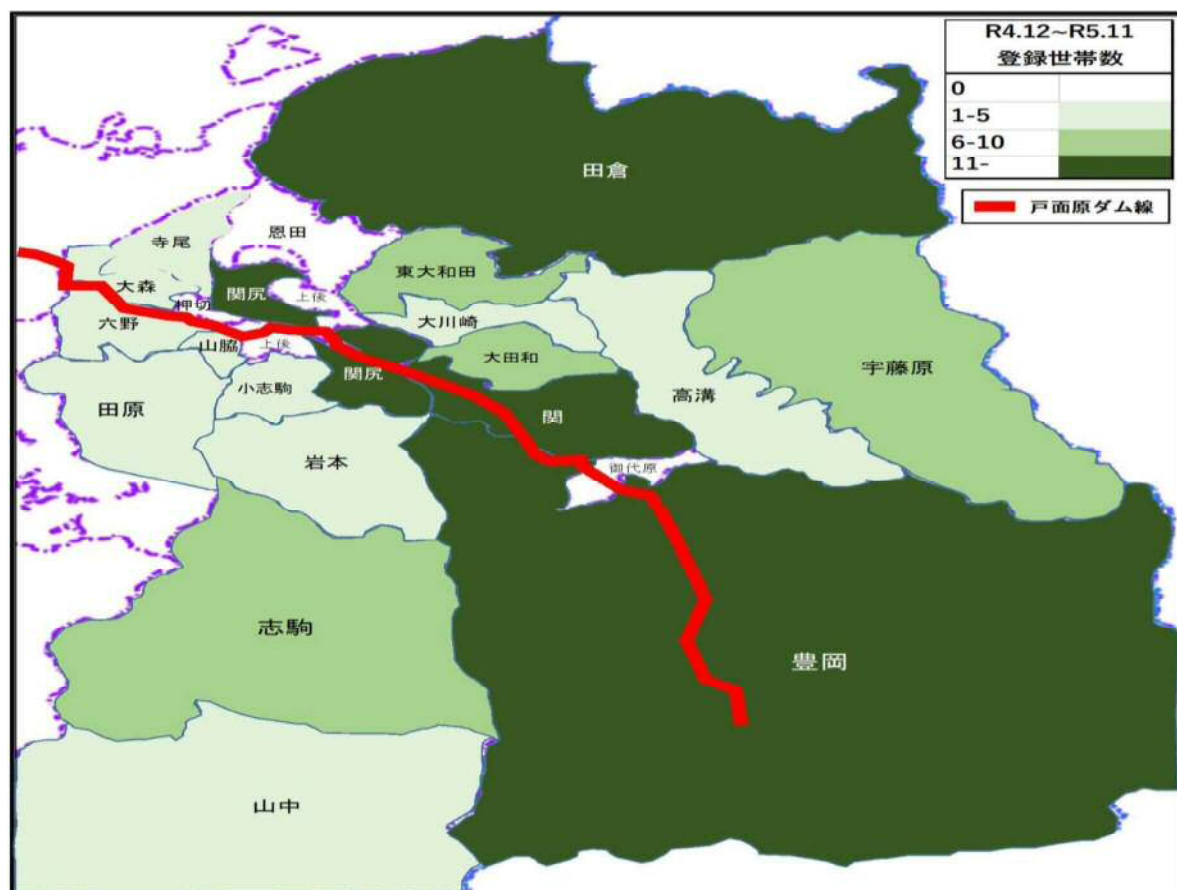
延べ利用者数は674人、実利用者数は47人で、字別では、田倉、田原、豊岡の住民に多く利用されている。



参考) 大字別延利用者数の分布 (人)

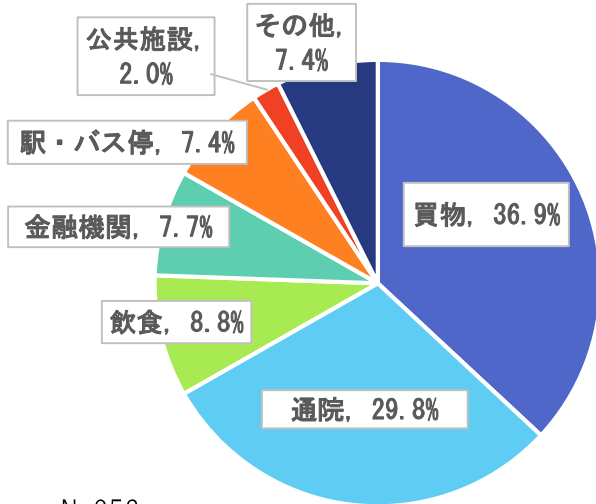


参考) 大字別登録世帯数の分布 (世帯)



■ 利用目的別

利用目的は買い物、通院が多く、全体の6割を占める。その他、飲食や金融機関など様々な目的で利用されている。



N=352

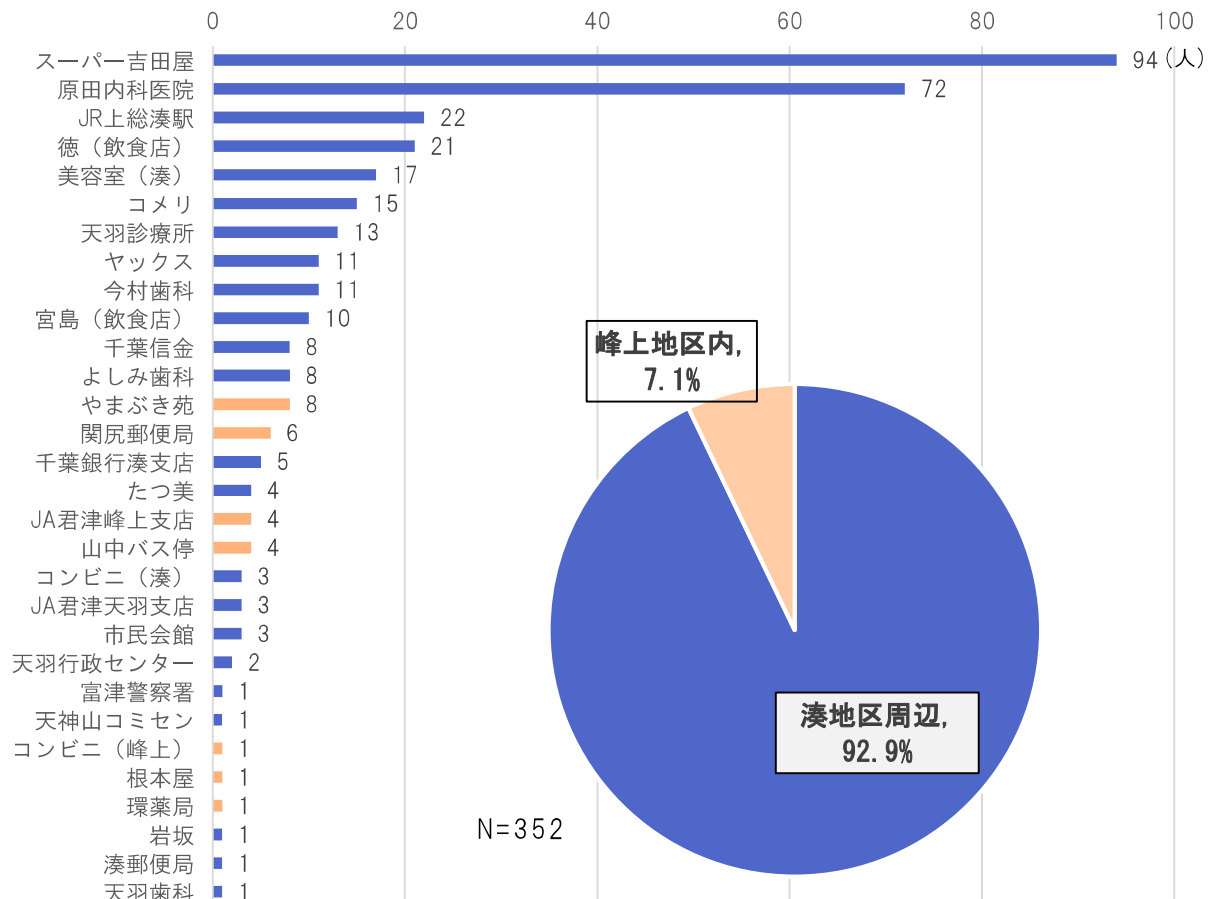
目的	利用者数	割合
買物	130人	36.9%
通院	105人	29.8%
飲食	31人	8.8%
金融機関	27人	7.7%
駅・バス停	26人	7.4%
公共施設	7人	2.0%
その他	26人	7.4%
計	352人	100.0%

※目的地自宅を除く。

■ 行き先

行き先はスーパー吉田屋、原田内科医院、JR上総湊駅の順に続く。

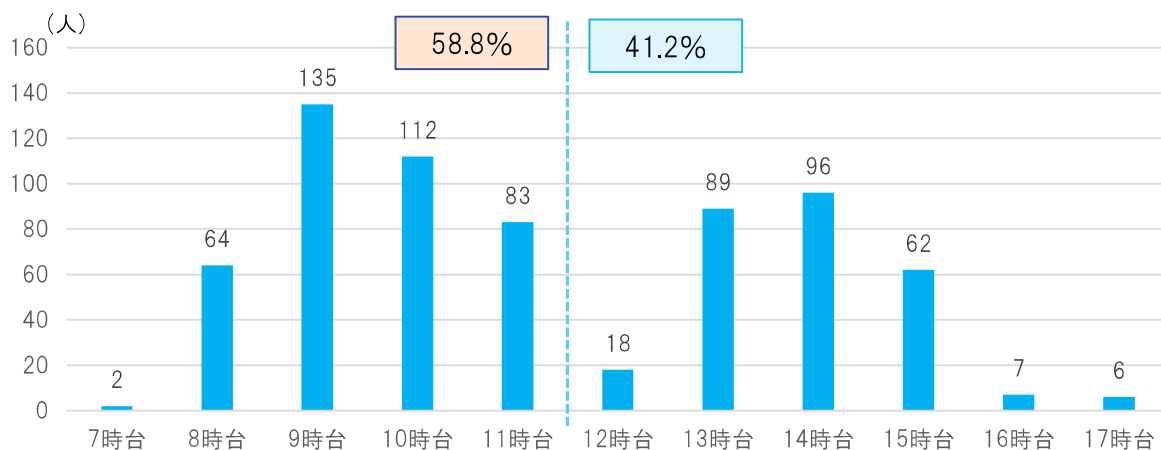
全体の9割程が湊地区周辺への移動で利用されている。



N=352

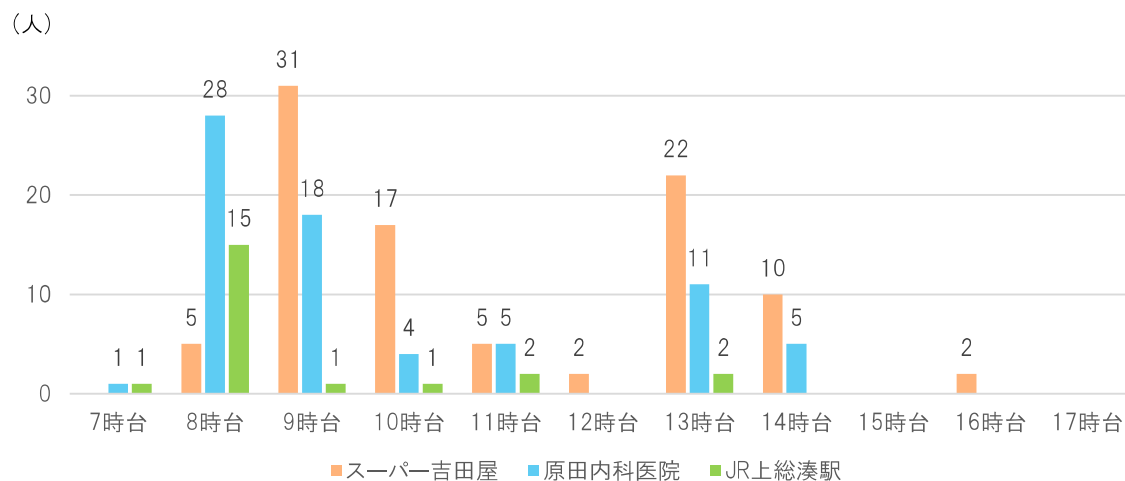
■ 利用時間帯別利用者数（全体）

利用時間帯別では午前中の利用が 58.8%、午後の利用が 41.2%となっており、午前中がやや多く利用されている。



■ 利用時間帯別利用者数（利用の多い行き先）

よく利用される上位3か所への利用時間帯別利用状況は、スーパー吉田屋へは9時台が最も多いものの、幅広い時間で利用され、原田内科、JR上総湊駅へは8時台が最も多い。



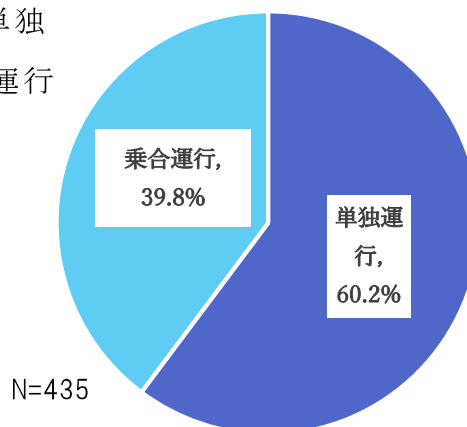
■ 往復利用

買物先、通院先など目的地への移動数が 352 回、自宅への移動数が 332 回となっており、往復利用率は 91.5%となっている。その差 (8.5%) は他の移動手段 (路線バス、タクシー、家族送迎等) で帰宅していると考えられる。

■ 単独運行と乗合運行の別

運行回数ベースでは、1人が乗車した単独運行が60.2%、2人以上が乗車した乗合運行が39.8%となっている。

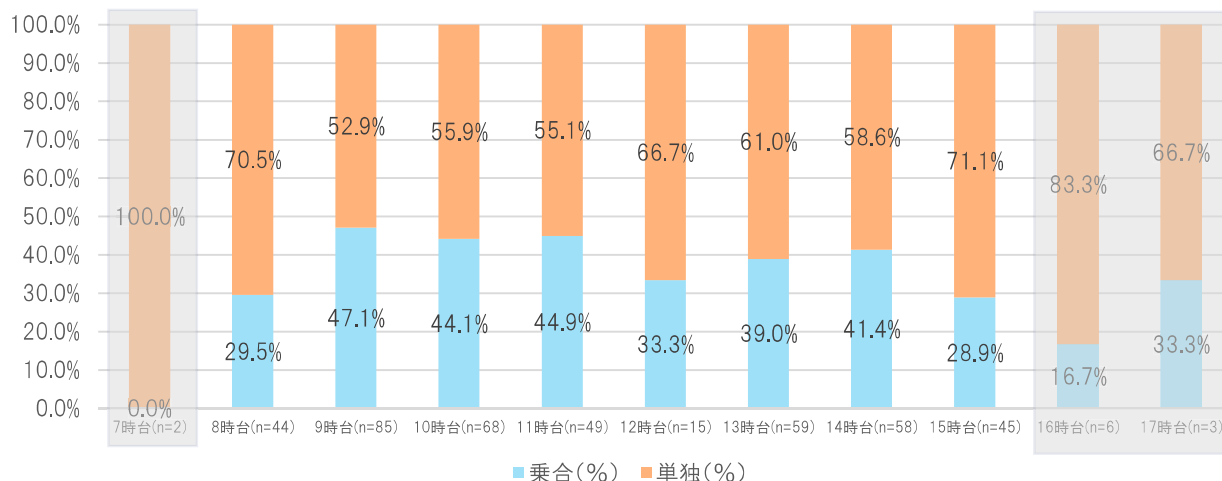
	運行回数	割合
単独運行	262回	60.2%
乗合運行	173回	39.8%
計	435回	100.0%



■ 時間帯別単独運行と乗合運行の割合

運行回数ベースで、時間帯別に単独運行と乗合運行の割合をみると、9～11時台の乗合運行率が高くなっている。

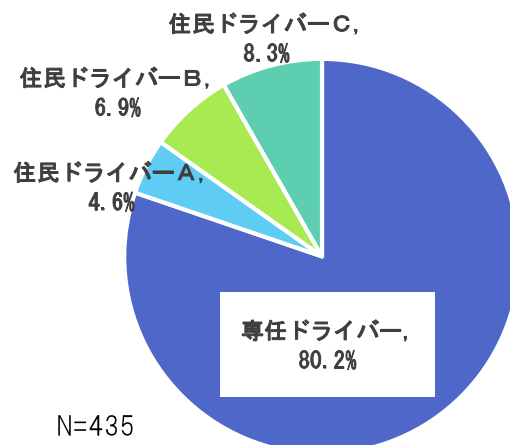
なお、標本数が少ない時間帯(N=10未満)はここでは考慮しない。



■ ドライバー別運行回数

運行回数ベースでは、専任ドライバー(タクシー運転手)による運行が80.2%、住民ドライバーによる運行が19.8%となっている。近接した時刻にそれぞれの距離が離れた会員宅から予約の依頼があった場合や、帰りの時間が合わない場合などに住民ドライバーが運行している。

	運行回数	割合
専任ドライバー	349回	80.2%
住民ドライバーA	20回	4.6%
住民ドライバーB	30回	6.9%
住民ドライバーC	36回	8.3%
計	435回	100.0%



④収支状況

実証運行開始から令和5年3月末までの決算資料ではあるものの、収支率は10.1%となっており、差額は市補助金で運営している。

収支決算書

事業期間 令和4年10月1日～令和5年3月31日

収入の部

科 目	金 額	摘 要
年会費	101,000	1,000円×101軒
乗車券購入費	100,000	
乗車料金	39,200	現金收受
利子	2	預金利子
市補助金	2,149,569	富津市移動手段確保等支援事業補助金 (運送に要する経費+事務費)ー運送収入
計	2,389,771	

支出の部

科 目	金 額	摘 要
(運送に要する経費)		
人件費	858,322	運転手給与 タクシードライバー、住民ドライバー 運行管理者手当 事務員給与 会員報酬
保険料	208,460	自動車保険 リース車両、持込み車両
燃料費	20,458	ガソリン代
賃借費	273,338	自動車リース代
車両管理費	2,200	タイヤ交換
環境整備費	7,552	コロナ対策(マスク)、乗降用ステップ等
備品購入費	709,786	事務用品等
委託費	131,890	案内看板作成経費、乗車券作成費等
研修費	78,901	交通空白地有償運送運転者講習、運行管理者基礎講習
小計	2,290,907	
(事務費等)		
会議開催費	9,516	お茶代等
消耗品費	13,818	コピー用紙等
通信運搬費	53,420	郵送料、携帯電話料金
管理費	22,110	その他諸経費
小計	98,864	
計	2,389,771	
収支率	10.1%	市補助金を除く収入額/支出総額

条件③収支率(収入÷支出)
基準値「1年目10%以上」

⑤その他（前回会議でご意見のあった事項等）

・乗合運行が家族割引のようになっていないか

先にお示しのとおり、乗合で運行した 173 便のうち、同居親族のみでの運行は 34 便で、乗合運行全体に占める割合は 19.7%となっている。

より詳細にみると、同居親族のみで利用している世帯は 4 世帯で、いずれも乗車の際に介助が必要な方のご家族が同乗しているケースである。

一定の乗合率を達成できている主な理由としては、ご近所同士が峰タクを通じて交流され、互いに乗合運行に協力的であること等が挙げられる。

また、予約受付時に受付者から「この日は他の予約が先に入っているので、差し支えなければ乗合いで〇時に調整させていただけますか。」といった提案を行っており、利用者側も峰タクの趣旨に賛同されていること等から不満の声もないため、今後もこうした調整を図ることで乗合率の向上を図っていきたい。

・運行上の安全管理について

安全管理のため、乗務員の体調等の確認を運行前に毎回対面にて行い、運行車両の点検を住民ドライバー車両も含め月 1 回行っている。

また、自主的な安全運転の啓発活動として、安全運転の知識テストを 2 か月に 1 回程度行っている。

・利用の拡大に向けて

法人の取組みとして、会員数の拡大と利用促進を図るため、チラシ（別紙）を作成し、法人や区長会、民生委員、ふれあい推進員等を通じて対象となり得る住民へ配付し、周知に努めている。

また、さらなる利便性の向上に取り組むため、今年度中に利用者・非利用者に限らず地域住民向けのアンケート調査を実施し、要望・意見を伺い、より良い運行を目指して取組みを進めていく考えである。

参考)

■実際の利用実態を基にした1日の想定利用モデル

(運行回数8回、実利用者7名、延べ利用者14人) 運行時間8:00~16:00

回	専任ドライバーの1日の動き
1	8:10 会員A宅 乗車 ↓ 8:25 JR上総湊駅で会員A降車 ~峰上地区方面へ回送~
2	8:35 会員B宅 乗車 8:40 会員C宅 乗車(相乗り) ↓ 9:00 スーパー吉田屋で会員B降車 9:05 原田内科医院で会員C降車 ~待機~
3	9:50 スーパー吉田屋で会員B乗車 10:00 原田内科医院で会員C乗車(相乗り) ↓ 10:15 会員C宅降車 10:20 会員B宅降車 ~峰上地区内回送~
4	10:30 会員D宅 乗車 ↓ 10:45 峰上地区内介護施設で会員D降車 ~事務所で待機~
5	11:30 峰上地区内会議施設で会員D乗車 ↓ 11:45 会員D宅 降車 ~事務所へ戻り、昼休憩~
6	13:20 会員E宅 乗車 13:30 会員F宅 乗車(相乗り) ↓ 13:50 スーパー吉田屋で会員E・F降車 ~待機~
7	14:30 スーパー吉田で会員E・F乗車(相乗り) ↓ 14:50 会員F宅 降車 15:00 会員E宅 降車 ~湊地区方面へ回送~
8	15:30 JR上総湊駅でA乗車 ↓ 15:45 会員A宅 降車 ~事務所へ戻り点検報告、業務終了~

※事務所から上総湊駅までは約6km、車で約10分かかる。

※事務所から峰上地区内の最も離れた集落までは約12km、車で約20分かかる。

峰タク 運行車両 4台(1台は専用車両、3台は持込車両)



奥より、

地域回覧 峰上交通ニュース
令和5年12月発行版

ニッサンクリッパー 福本持込車両(白軽)

ホンダフリード 専用車両牧野使用(白)

ダイハツロッキー 岩澤持込車両(黒)

ニッサンマーチ 村上持込車両(黒)

専用車両: 2種免許保有のプロドライバーによる運行車両
持込車両: 住民ドライバーの私有車を使用しての運行車両(現状3台にて運行)

峰タク運行ドライバーの声

専属ドライバー(2種免許所有 現役タクシードライバー)
牧野利和 宇藤原在住
峰タクは、定額料金で利用し易い。
便利で快適な移動空間を、峰タクで 地域の皆さんへ！



住民ドライバー(法令講習受講済、車両持込)
福本弘幸 関尻在住
ご利用者さまの輪が広がるよう安全運転に努めます。

住民ドライバー(法令講習受講済、車両持込)
村上龍夫 志駒在住
安全第一と笑顔を心がけ運転しています。
どうぞご利用ください。



住民ドライバー(法令講習受講済、車両持込)
岩澤敏明 関尻在住
要望があれば出来る限り対応しますので気兼ねなくご利用ください。
先ずは一度利用してみてください。1往復無料券が利用できます。(無料券期限はR6.3.31)

利用者の声(写真とは連携していません)



- ・峰タク運行前は、自転車で湊まで買い物に行っていたが、峰タクができて使うようになり、重いものでも買い物ができるので大変助かっています。
- ・毎週火曜日に買い物のために利用しています。(1週間分仕入れます)
- ・運転免許証を返納をするきっかけになりました。

・昔(数10年前)までは歩いて行ける場所に商店があったが、今は無くなったが、峰タクがあり、買い物にも行けるようになり大変助かっています。

・通院に利用していますが、診察終了まで待っていてくれるので時間のロスがなく大変助かります。



- ・峰タク運行前は、家族等に送ってもらい買い物等をしていたが、峰タクを使うようになり、人に気を使うことなく利用できるので大変助かっています。
- ・以前より気軽に出かけられるようになりました。
- ・もう少し利用できる時間・曜日・範囲が広がればより良いと思う。

・時には、相乗り者の家まで行くこともありちょっとしたドライブ気分も味わえ楽しい時間を過ごせます。

・途中の立寄り等もできるので、便利で良いです。

・どのドライバーも大変親切で、会話にも対応してくれ乗車していて退屈しません。

・鴨川の病院への通院に、山中停留所まで利用しバスに乗り換えています。

・毎月、有志にて食事会(飲酒を含む)に利用しています。

